

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
K303	国際政治学 / 国際政治学 I	3年	講義	2	新谷 卓
授業概要 国際政治学や政治学の基礎となる用語や概念を歴史の中から学びます。その上で、現在、世界で起きている国際政治の問題や出来事、例えば、「グローバリゼーション」「テロリズム」「ポピュリズム」「難民」「ブレグジット(英国の EU 離脱)」「右翼政党の台頭」などの事柄を歴史および理論的な視点から読み解きます。単に外交史を学ぶのではなく、今日の不安定・不確実な時代に生きる私たちが歴史的にどのような位置に立っているのか、理解できるような授業にしたいと考えています。公務員試験の対応を希望する者がいれば別途対応します。					
到達目標(学習の成果) 1) 政治学ならびに国際政治学の基本的な知識を身につけることができる。 2) 現在起きている国際的な問題を歴史的に整理し、理解することができる(DP3)。 3) 1) 2) の知識を踏まえた上で、具体的な課題に対して解決策を見出しうる能力を育成することができる(DP3)。					
授業計画					
回	表 題	学修内容			
1	国際政治学の学び方	ポスト真理、エコーチェンバー、見えなくなる世界、SNS と政治、貧困・格差問題			
2	多元的世界から主権国家誕生へ	ヨーロッパ中世の多元的世界から主権国家の誕生まで			
3	国民国家誕生とナショナリズム	フランス、ドイツ、日本における国民国家の誕生			
4	第一次世界大戦	第一次世界大戦に至る経緯と外交、大戦中の経過、戦争終結への道筋			
5	共産主義とファシズムの時代	20 世紀前半の「イデオロギーの世界内戦」、自由主義・共産主義・ナチズムの対立			
6	第二次世界大戦	第二次世界大戦に至る経緯と外交、大戦中の経過、戦争終結への道筋			
7	冷戦	20 世紀後半の「イデオロギーの世界内戦」、ベルリン封鎖、朝鮮戦争、ベトナム戦争			
8	ポスト冷戦の時代	民族の対立、歴史の終わり、文明の衝突、新しい戦争			
9	国際政治の理論(Ⅰ)	パワーと国益——リアリズム、ネオリアリズム			
10	国際政治の理論(Ⅱ)	対立と強調——リベラリズム、ネオリベラリズム			
11	国際政治の理論(Ⅲ)	世界システム論、帝国、コンストラクティヴィズム、その他			
12	グローバリゼーションと国家	グローバリゼーションの歴史、今日のグローバリゼーションが引き起こす問題			
13	米国とグローバリゼーション	トランプ大統領誕生、自由と米国、ポピュリズム			
14	欧州とグローバリゼーション	ブレグジット(英国の EU 離脱)、難民、右翼政党の台頭			
15	今後の展望と課題	現代の国際政治、今後の各国の展望と課題			

準備学修(授業外の自己学修)

授業に関係する雑誌・新聞などの記事、ドキュメンタリー等の番組を視聴し、問題に対するおおよその流れを知り、関心を高めておくことが好ましい。

成績評価の方法・基準(%表記)

毎回授業の際に記入する簡単なコメントシート(20%)、授業内容をまとめる中間レポート(30%)、試験期間中に実施する期末試験(50%)の成績を総合して評価を行う。

観点	S	A	B	C
基本的な政治・国際政治の用語を理解できているか。	完全に理解できている。	ほぼ理解できている。	理解できている。	一定程度理解できている。
国際的な問題や課題を歴史的に整理し、理解することができるか。	完全に理解できている。	ほぼ理解できている。	理解できている。	一定程度理解できている。
国際政治に興味・関心を持って意欲的に取り組むことができたか。	たいへん意欲的に取り組んでいる。	ほぼ意欲的に取り組んでいる。	概ね意欲的に取り組んでいる。	一定程度意欲的に取り組んでいる。

教科書

テキスト 特に指定しません。毎回授業の初めにコピーした資料を配布します。

参考書等

村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将著『国際政治をつかむ』有斐閣、2017年(定価2,200円+税)。

藤本一美編『政治学の基礎』志學社 2014年(定価3,400円+税)。

履修上の注意・学修支援

毎回の出席と授業への参加を重視します。初回の授業の際に、授業の方法や内容について解説しますので、履修者は必ず初回から出席してください。